【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第４区分
【発行日】平成29年10月19日(2017.10.19)

【公開番号】特開2016-60142(P2016-60142A)
【公開日】平成28年4月25日(2016.4.25)
【年通号数】公開・登録公報2016-025
【出願番号】特願2014-190898(P2014-190898)
【国際特許分類】
Ｂ４１Ｊ　29/00　　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　 3/06　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ４１Ｊ　29/00　　Ｃ
Ｂ６５Ｈ　 3/06　　Ａ

【手続補正書】
【提出日】平成29年9月4日(2017.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
被記録媒体に記録を行う記録ヘッドと、
前記被記録媒体を収容する媒体収容部と、
前記被記録媒体の給送方向と交差する方向において前記媒体収容部を挟んで一方の側に設けられた第１の基体部と、
他方の側に設けられた第２の基体部と、
前記第１の基体部と前記第２の基体部とを繋ぎ、前記被記録媒体の搬送経路において前記記録ヘッドより下流側に位置する天板部と、
前記媒体収容部と対向する位置に設けられ、前記媒体収容部のうち媒体を給送可能な位置にある媒体収容部において少なくとも、前記被記録媒体の有無または、前記媒体収容部の有無のいずれか一方を検出する第１検出手段と、
前記天板部の上面に設けられた回路基板と、
前記第１検出手段と前記回路基板とを接続するケーブルと、
を備え、
前記ケーブルは、前記第１の基体部又は前記第２の基体部の側面に設けられたケーブル保護部を通る、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項２】
請求項１に記載の記録装置において、前記媒体収容部に収容された前記被記録媒体を前記媒体収容部から送り出す給送ローラーと、
前記媒体収容部と対向し、前記給送ローラーを保持する保持部材と、
を備え、
前記第１検出手段は前記保持部材に設けられている、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項３】
請求項１または請求項２に記載の記録装置において、前記ケーブル保護部は溝として形成されている、

ことを特徴とする記録装置。
【請求項４】
請求項３に記載の記録装置において、前記溝は、前記被記録媒体の搬送方向において前記第１検出手段から搬送方向下流側に延びる第１の溝部と、該第１の溝部における搬送方向下流側の端部から装置高さ方向において前記天板部に設けられた前記回路基板に向けて延びる第２の溝部と、
を備える、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項５】
請求項３または請求項４に記載の記録装置において、前記溝内には前記ケーブルと前記媒体収容部の有無を検出可能な第２検出手段とが設けられている、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項６】
請求項１から請求項５のいずれか一項に記載の記録装置において、前記第１検出手段と、前記回路基板との間には前記ケーブルに生じるノイズを低減するノイズ低減部材が設けられている、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項７】
請求項１から請求項６のいずれか一項に記載の記録装置において、前記第１検出手段は、前記媒体収容部に収容された前記被記録媒体の種類を検出可能である、
ことを特徴とする記録装置。
【請求項８】
請求項１から請求項７のいずれか一項に記載の記録装置において、前記媒体収容部には前記被記録媒体の搬送経路に沿って搬送され、排出される前記被記録媒体を受ける排出トレイが一体に設けられている、
ことを特徴とする記録装置。